



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1  
www.aioinissaydowa.co.jp

## 企業の防災・減災を支援する「DXソリューションパッケージ」の本格展開を開始 ～デジタルのチカラで事故を予防・低減し、サステナブルな事業環境の構築を支援～

2024年1月12日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、企業の事故を予防・低減し、サステナブルな事業環境の構築を支援するために、事故の未然防止や損害の極小化に有効なソリューションと補償をセットで提供する「DXソリューションパッケージ（以下、DXSP）」<sup>※1</sup>のラインアップを大幅に拡充し、2024年1月から提供を開始します。

※1 [https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2022/news\\_2022101101072.pdf](https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2022/news_2022101101072.pdf)

### 1. 背景

社会環境の変化やテクノロジーの進展等により、企業を取り巻くリスクは多様化・複雑化しており、事故の未然防止や再発防止の取り組みは企業の持続的な発展において重要な課題となっています。

当社は中期経営計画の核に掲げる「CSV×DX（シーエスブイバイディーエックス）<sup>※2</sup>」に基づき、2022年10月よりDXSPの提供を開始するなど、企業の防災・減災に資する様々な商品・サービスを提供しています。

今般、より一層お客さまの安全・安心を支援するため、DXSPのラインアップを大幅に拡充し、更なる付加価値の提供を目指します。

※2 CSV・・・Creating Shared Value（社会との共通価値の創造）

DX・・・Digital Transformation（データやデジタルを活用し、価値提供を変革させること）

### 2. DXソリューションパッケージの概要

#### （1）DXSPの概要・コンセプト

DXSPは、最先端のソリューションと補償をセットで提供し、お客さまとともに事故の予防・低減に取り組む企業向けのパッケージ商品です。「デジタルのチカラで、プラスワンの安心を。」を新たにコンセプトとして掲げ、安全・安心でサステナブルな事業環境の構築を支援し、企業の発展、さらには地域の活性化、安全に暮らすことのできるまちづくりを目指していきます。

今般、企業の抱えるリスクに幅広く対応すべく、火災や漏水、ケガ等の事故低減に有効なソリューションを9個追加し、本格展開を開始します。業種・業態に合わせ、最適なソリューションと補償をセットで提供することで、さらなる安心をお届けし、お客さまとともに、社会・地域課題の解決に取り組んでいきます。

## デジタルのチカラで、プラスワンの安心を。 -企業とまちのより良い未来に向けて-

安全・安心で暮らしやすい地域

環境にやさしく緑豊かな地域

人が集まり発展し続ける地域

大切な従業員やお客さまを守り、  
安全・安心な事業環境の構築を支援

#### 事故の低減に有効な最先端のソリューション

事故の未然防止・損害の極小化に有効なソリューションでプラスワンの安心をご提供



### DXソリューションパッケージ

#### 充実の補償

万が一の際には  
充実の補償でサポート

火災保険

新種保険

自動車  
保険

傷害保険

...

(2) 2024年1月から新たに提供するソリューション

ソリューション	イメージ	社会課題	ソリューションの概要
①炎検出センサー		火災の発生原因のトップは「放火＋放火の疑い」であり、放火対策は重要な社会課題 (引用：令和2年版消防白書「主な出火原因別出火件数」)	火から発生する紫外線をリアルタイムに検知しアラートを発信。太陽光と火の紫外線を分離できるため屋外での利用も可能
②AI 火花検知カメラ		リチウムイオン電池等を処分する際、火花が発生し、これを原因に火災事故に発生するケースが多発	AIカメラにより火花を瞬時に検知し、アラートの発信や自動消火も可能
③X線老朽配管検査		一般的に築30年以上の建物は、給水管からの漏水発生率が急激に上昇するため、建物の老朽化対策は重要な社会課題	建物内配管をX線で撮影し、配管の寿命を計測することで効率的な修繕計画の策定を実現
④IoT漏水検知センサー		建物の老朽化・メンテナンス不足を原因とした漏水事故が、建物の長寿命化を阻む要因となっている	漏水を検知すると警告音やWi-Fi機能によるメールでアラートを発信
⑤障害物検知警報センサー		少子高齢化に伴う労働人口減少を主因として、以下のような課題が表面化	(左記⑤の解決に寄与) フォークリフトを中心とした建設機械等に取り付け、近接した人や物を検知してアラートを発信
⑥IoT 作業安全見守りサービス (センサー)		⑤建設機械等の操作者(オペレーター)の高齢化・担い手不足 ⑥業務負荷の増加により人力での現場管理に限界。機械による業務効率化が急務	(左記⑥の解決に寄与) あらかじめ定めたエリア(侵入禁止エリアなど)に許可担当者以外が侵入した時にアラートを発信
⑦IoT 作業安全見守りサービス (ウェアラブルデバイス)		⑦業務負荷や残業時間の増加による従業員の体調不良を原因としたヒューマンエラー発生	(左記⑦の解決に寄与) 従業員のバイタル情報をリアルタイムで取得し、バイタル異常時に管理者へアラートメール等を発信
⑧オンラインマニュアル作成ツール		⑧従業員教育の時間が取れないことや外国人労働者の増加による教育不足を原因としたヒューマンエラー発生	(左記⑧の解決に寄与) スマホ一つで簡単に高品質なマニュアルが作成でき、8か国語の自動翻訳機能の活用や、作成したマニュアルの即時共有が可能
⑨モーションIoTセンサー		高齢化および独居老人の増加による「孤独死」が社会課題化	賃貸物件における入居者の異常を検知し、不動産管理会社へアラートを発信。孤独死の未然予防・早期発見に有効

3. 今後の展開

当社は、多様化するリスクへの対応に向け、最先端のソリューションを提供するさまざまな事業者との連携を進め、DXSPのラインアップをさらに拡大していきます。また、DXSPを提供することで、お客さまとともに事故の未然防止・早期回復に取り組むと同時に、ソリューションの活用により得られるデータの分析を通じてCSV×DXに資する新たな商品・サービスの開発を進め、誰もが安全・安心に暮らせる地域・社会の実現に貢献していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取組みます。

